



協働学習
支援ツール
【中音楽科】

ファイル共有機能

中学校 第2学年 音楽

「曲の構成のよさを生かした表現」

- (1) ねらい 「交響曲第5番 ハ短調 第1楽章」の動機の繰り返しや旋律の形に着目しての楽曲を分析する活動を通して、展開部の曲想と音楽の構造との関わりに気づき、ソナタ形式の中での展開部の役割について考えることができる。
- (2) 評価規準 「交響曲第5番 ハ短調 第1楽章」の旋律、リズム、形式を知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感じしながら、知覚したことと感受したこととのかわりについて考え、展開部の役割について根拠を明らかにして考え、音楽のよさや美しさを味わって聴いている。【思考・判断・表現】
- (3) 学習展開 (3/7)

過程	学習活動	教師の指導・援助(留意点)
導入	1. 既習事項を確認する ○オーケストラの魅力やベートーヴェンの生涯、ソナタ形式について学んだことを想起する。 ○展開部の冒頭部分を聴く。 ・提示部、再現部とは全然違う旋律だ。	<ul style="list-style-type: none"> ・モニターに前時までの学びを映しながら復習をする。 ・展開部がどの部分(何分何秒から)なのかを確認する。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>【ICT活用の工夫】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・クラウド上にオーケストラの魅力やベートーヴェンの生涯についての資料をまとめたものを用意し、共有機能を使って活用する。 </div>
	 <p>2. 本時の課題を共通理解する</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content;"> <p>展開部の役割を見つけよう。</p> </div> <p>○提示部と再現部の役割について共通理解する。 ・提示部は曲の動機を紹介する役割があり、再現部はもう一度動機を整理する役割があることが分かる。</p>	
展開	3. 個人追究する ○「交響曲第5番 ハ短調 第1楽章」の展開部の曲想と音楽の構造との関わりについて、音源や楽譜を用いて根拠を明らかにしてデジタルノートにまとめる。 ・展開部の始まりは、提示部と同じリズムだが、音の高さが違うので雰囲気が大きく変わった。 ・展開部は、再現部にはなかった旋律が多くある。	<ul style="list-style-type: none"> ・提示部、再現部と同様に活動を行えばよいことを伝える。また、分かったとき、分からなかったときの選択肢を確認する。 ・活動が滞っている生徒に聴くポイントのヒントカードを提示する。 ・曲を聴く視点を共有し、黒板に位置付ける。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>【ICT活用の工夫】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・展開部の音源をクラウド上で共有し、必要に応じていつでも聴けるようにしておく。(共有機能、ライブラリ等) </div>
	 <p>4. 班で交流する ○デジタルノートにまとめたことを発表し合う。 ○音源を聴いたり譜面を見たりしながら、曲想と音楽の構造との関わりについてさらに追究する。 ・展開部では、同じリズムだけど音の高さが違うと私も感じたよ。 ・楽譜のこの部分は提示部にはなかったよね。</p>	
終末	5. 全体で交流し、展開部の役割を考える ○展開部の曲想と音楽の構造との関わりについてまとめたことを発表する。 ・展開部のリズムは同じだが、音程が違って雰囲気を変える役割がある。 ・再現部に戻る前の部分だから楽しませる役割がある。	<ul style="list-style-type: none"> ・まとめることが難しい生徒には穴埋め式のヒントカードを活用することを提案する。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>【ICT活用の工夫】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・クラウド上の共有スペースにヒントカードを用意し、生徒が必要に応じて活用できるようにする。(共有機能) </div>
	<p>6. 曲を始めから聴く ○改めて提示部から聴き、展開部があることのよさや展開部の役割を音で確かめる。</p> <p>7. 展開部の役割についてまとめる ○自分で分析したことや、仲間との交流を通して学んだことをふまえて、展開部の役割とは何かをデジタルノートにまとめ、提出する。</p> <p>8. 本時の振り返りをする ○本時の自分の学びを振り返り、次回の批評文を書く活動へつなげる。</p>	